



北陸学院高等学校保健体育教諭・生徒会担当

# 宮浦 淳一

みやうら じゅんいち

## Profile

1975年生まれ。小松市出身。中京大学体育学部卒。2007年度より北陸学院高等学校の教壇に立つ。保健体育を教え、野球部の顧問も務める。2010年より生徒会の担当教諭となり、翌年からは責任者として生徒会全体をサポートする。

北陸学院高等学校生徒会室にて

リポートク2011  
Vol.3

# 「現在」と「未来」

ミッションの教育方針「勉強プラスもうひとつ」。生徒会担当であり野球部の顧問も務める北陸学院高等学校の教師が、生徒の自主性を大きく育む「もうひとつ」の重要性について語る。



グラウンドで部員を指導

「勉強プラスもうひとつ」  
「もうひとつ」としての部活動

本校では、教育方針である「勉強プラスもうひとつ」を生徒に勧めています。これは、高校時代に何かに夢中になる経験を通じて、豊かな人間性を育んでほしいというキリスト教教育に基づいたものです。「もうひとつ」

に何を選ぶかは生徒個人の自由ですが、代表的なものといえば、やはり部活動があげられると思います。私が顧問を務める野球部は、2005年の男女共学化と同時に

誕生しました。当初は5、6名からのスタートでしたが、今では約40名の部員が在籍しています。とはいえ、先輩と後輩の垣根が必要以上に高いということもなく、部員たちは程よい緊張感の中で、のびのびと野球に打ち込んでいます。これも創部から間もないという理由だけでなく、本校の自由闊達な校風の表れではないかと思っております。

「もうひとつ」が育む  
生徒の自主性

部活動と並ぶ「もうひとつ」に、生徒会活動があります。現在の生徒会役員は、ほとんどが自主的に立候補した生徒で占められており、立候補の理由もさまざまです。部活動との両立を模索する者もいれば、中には運動部や文化部には所属せず、いわば第三の道として生徒会を志望し、存在感を示す生徒もいます。まさに、ミッションの「もうひとつ」は十人十色であり、生徒の数だけそのかた

ちがあると言えます。

一方で「部活動も、生徒会も、きちんとやりたいけど時間が無い」と相談に来る生徒も少なくありません。そんな時は、まずじっくりと生徒の話聞きまします。そして多くの場合、「すべてうまくできない時は、まずできることをがんばり続けなさい」とアドバイスし、生徒自身が解決の糸口をつかめるまで我々教師は声をかけ、励まし続けます。



生徒会主催の球技大会

生徒会では、基本的に生徒たちで話し合って決めるようにしています。学校が決めて指示をすれば時間も手間もかかりませんが、それでは自主性が育ちません。仲間と力を合わせ、一つのことをやり遂げてこそ味わえる達成感—これを知ってほしいと思うからこそ、あえて時間のかかる道を選び、教師は最後までサポート役に徹します。もちろん、生徒同士の考え方の相違から途中でめめることもあり

ますが、彼らはしっかりと課題をクリアしていきます。まさに「もめごとを経験するたびに強くなる」といった感じですね(笑)。

「もうひとつ」が  
受験にもたらすメリット

生徒会には、各コースの生徒が所属しています。「コースが違うから」と壁を作ってしまうと、それ以上前には進めませんし、ましてや大きな行事をやり遂げるには協調性が欠かせません。活動を通じて、生徒たちはおのずとこれらに気づき、コミュニケーション能力を身につけます。

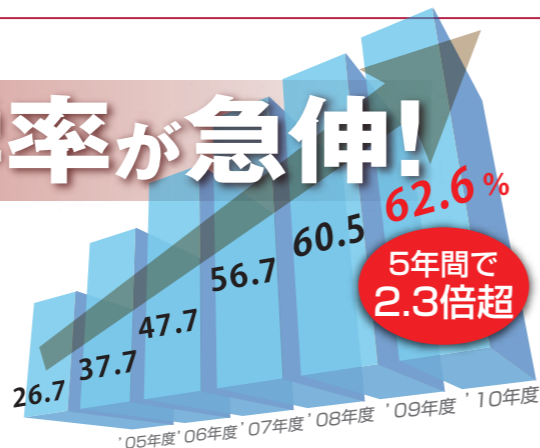
最初は皆の前で口ごもり下を向いていた生徒が、すぐに大勢の前でも堂々と話せるようになる姿は、とても頼もしいものです。当然ながらここで得られた自信が、受験時の面接などでプラスに働くことは想像に難くありません。

また、時間のやりくりで苦労した生徒なら、スケジュールを立て、それを順に実行する力が身につきますから、受験という大きな壁に向き合った際にも、比較的スムーズに乗り切れることが多いようです。(談)

月刊北國アクトス2011年9月号掲載記事

# 4年制大学への進学率が急伸!

少人数制のメリットを最大限に活かしたきめ細やかな進路指導は、**91.3%**という圧倒的な現役進路決定率に表れています。なかでも、4年制大学への進学率は、この5年間で26.7%から**62.6%**へと急伸(2.3倍超)しており、国公立大学への進学者も、今や総生徒数の10%を超えています。



## 2010年度の合格実績(すべて現役合格)

※人数はすべて「のべ人数」

### ■特別進学コース[文系・理系]

【国公立大学】 石川県立看護大(看護) 石川県立大(生物資源環境) 金沢大(理工学域) 金沢大(医薬保健学域) 2名  
滋賀大(経済) 富山大(経済) 長崎大(歯) 防衛大(理工)2名 横浜国立大(理工)

【私立大学】 神奈川工科大(工) 神奈川工科大(情報)3名 金沢工業大(工) 関西学院大(理工) 京都産業大(経済)  
近畿大(生物理工) 芝浦工業大(システム理工) 鶴見大(歯) 東京農業大(地域環境科学)  
同志社大(神) 同志社大(心理) 同志社大(生命医科学) 同志社大(文化情報)  
日本歯科大(新潟生命歯) 日本女子大(理) 北陸大(薬)3名 龍谷大(経済)

【専修学校】 石川県歯科衛生士専門学校 石川県立総合看護専門学校 金沢医療センター附属金沢看護学校

### ■英理進学コース[文系・理系]

【国公立大学】 石川県立看護大(看護) 金沢大(人間社会学域) 北見工業大(工) 神戸市外国語大(外国語) 名桜大(人間健康)

【私立大学】 愛知学院大(文) 神奈川工科大(創造工)2名 金沢学院大(文) 金沢工業大(情報) 金沢工業大(環境・建築)  
金沢工業大(工) 金沢星稜大(経済)2名 関西外国語大(外国語) 関西学院大(理工) 京都学園大(バイオ環境)2名  
京都ノートルダム女子大(生活福祉文化) 京都ノートルダム女子大(人間文化) 国士館大(経営) 国士館大(21世紀アジア) 実践女子大(文)  
昭和女子大(人間文化) 仁愛大(人間) 聖心女子大(文) 大東文化大(国際関係) 玉川大(農) 中央学院大(法) 帝京大(理工)2名  
東海大(海洋)2名 東京女子大(現代教養)3名 同志社女子大(学芸) 東邦音楽大(音楽) 日本大(法) 法政大(経済) 北陸学院大(人間総合)8名  
北陸大(薬)2名 武庫川女子大(音楽) 武蔵野大(人間関係) 明治大(経営) 立教大(現代心理)

【短期大学】 京都光華女子大学短期大学部 金城大学短期大学部 神戸女子短期大学 北陸学院大学短期大学部4名

【専修学校】 石川県立保育専門学校 金沢科学技術専門学校 金沢看護専門学校 こまつ看護学校 日本工学院専門学校

### ■一般進学コース[文系のみ]

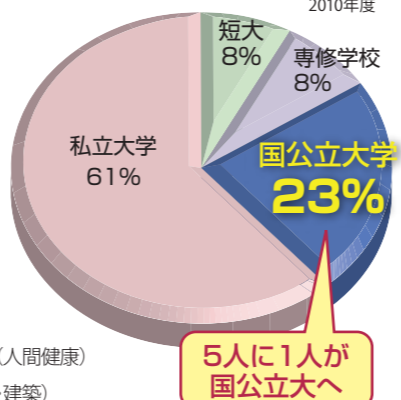
【私立大学】 金沢工業大(工) 金沢工業大(環境・建築)2名 京都ノートルダム女子大(心理) 共立女子大(文芸) 神戸女学院大(文) 女子栄養大(栄養)  
高岡法科大(法) 東京農業大(国際食糧情報) 梅花女子大(心理こども)2名 放送大 北陸学院大(人間総合)14名 北陸大(薬)  
武庫川女子大(生活環境) 桃山学院大(経営) 早稲田大(スポーツ学)

【短期大学】 青山学院女子短期大学 修文大学短期大学部 昭和女子大学短期大学部 星稜女子短期大学 北陸学院大学短期大学部8名 山野美容芸術短期大学

【専修学校】 石川県歯科衛生士専門学校 石川県理美容専門学校 大原デザインカレッジ専門学校 加賀看護学校 金沢科学技術専門学校  
金沢製菓調理専門学校 金沢福祉専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 大阪ダンス&アクターズ専門学校 名古屋モード学園  
日本ビジネススクール金沢

### 【特別進学・英理進学コース合格実績】

2010年度



# ミッションという選択

2003年に中学校の男女共学化および進学コースを導入、2005年の高校男女共学化と、ここ数年で大きく変貌した北陸学院(ミッション)。キリスト教教育のよき伝統を踏まえながら、授業をはじめとするさまざまな改革に着手したその成果は、進学実績の向上や部活動の活性化等に表れつつある。

## 一般入試と推薦入試、 どちらも躍進した 2010年度大学入試

ミッションには同志社大学への特別推薦枠をはじめ、全国に約400名もの指定校推薦枠があります。例年、多くの生徒が本校の強みである、この推薦制度を利用しますが、近年では一般入試への挑戦者も急増しています。



たとえば「特別進学コース」では、2010年度国公立大学入試において一般と推薦による合格者が同数となり、これまで以上に一般入試での健闘が目立ちました。また、「一般進学コース」から初の早稲田大学合格者が出たことも、注目すべき変化の一つと言えるでしょう。

## 文武両面で 実績を出せる高校に

「放課後がきちんと存在する学校」でメリハリのある生活を送り、何かに夢中になる体験をすることは、今後の人生において大きな糧となります。

学校改革の中心に、「勉強プラスもうひとつ」を掲げてきたミッションには、勉強と課外活動を両立させながら、推薦制度を上手に利用して夢をかなえた先輩たちがたくさんいます。多彩な進路先で活躍する先輩たちの姿は、文武両面で実績を出せる私立高校としての評価を定着させました。今後は、部活動の活性化にもさらに力を入れ、生徒一人ひとりのより充実した高校生活をサポートしていきます。



## 2011 OPEN SCHOOL <ミッション祭のお知らせ>

2011年9月3日(土)

●中学・高校合同で行われる文化祭です。ぜひお立ち寄りください。

詳しくは、本校にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

<お問い合わせ>

TEL.076(221)1944

<http://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>



## 中学生のお子さまをもつ保護者の方へ

### 推薦入試でも公立高校との併願受験が可能

本校の推薦入試では、**公立高校との併願受験が可能です。**つまり、「合格」=「入学」の専願受験以外に、公立高校との併願受験ができるということです。さらに、要件を満たす推薦入試での入学者は、**初年度の授業料が無料となる「進学サポート奨学金制度」**を利用できる特典もあります。推薦入試・進学サポート奨学金制度の詳細については、直接お問い合わせいただくか、本校のホームページをご覧ください。

※現在の内容は2010年度のものであり、今後変更になる場合がございます。



月刊北國アクタス2011年9月号掲載記事